

桜めーる



平成十七年度 新役員決定！

第63号
発行
桜ヶ丘町内会
広報委員会

十七年度町内会活動について 町内会長 前田修三

十六年度の役員の皆様この一年間ごろうさまでした。桜ヶ丘町内会員の皆さんの協力とご支援により、十六年度桜ヶ丘町内会活動は予想以上に成果があったと自画自賛していますが、就任時からのモットーとして「二人はみんなのために、みんなは一人のために」で臨んできました。今年度も皆さんのご意見・ご鞭撻・ご支援により、町内会活動を活性化させ、十七年度役員一同、更なる変革を目指しますので、よろしくお願ひ致します。

町づくり委員会の安心 安全分科会 組織分科会を再開

十七年度定期総会で示しましたように、桜ヶ丘町内会は昨年、三十周年を迎え、四月一〇日の記念イベントも成功裏に終えました。町内会が発足し、この三十年間で大きく変化しました。町内会活動に「尽力、努力の歴史があり、今継続できていること、再度見直しすること、もう一度主旨を生かすこと色々あると思います。町内会内部、会員の変化と町内会を取り巻く環境・経済・政治・生活環境が大きく変化しました。桜ヶ丘の「町づくり」とは？をもう一度、再検討し、将来をしっかり」と見極め、喧喧轟々と言

わが桜ヶ丘をもっと「安全で」「安心な」まちを目指すことを最重要課題とし、桜ヶ丘の十七年三月の人口統計では高齢化率 大口全体に対し、六十五歳以上の方が占める割合は十四・六です。五十五歳から六十四歳の方が五二名ですので、単純に予測しますと十年後の高齢化率は三八・四になると予想できます。十年後の少子高齢化に対応した組織・仕組みづくりをしていかなければなりません。是非とも多くの方の参画をお願いいたします。

十七年度 事業活動方針

活動指針

一人はみんなのために、みんなは一人のために」を合いことばに「能動・自主・自立」で「二人一役の町内」を活動指針とする。

一、行事

十六年度実施しました「歩こう会」「夏祭り」「どんと焼き」、清掃関係は例年通り計画実施します。すでに実施し、多くの方の参加して頂いた「桜まつり」を春の行事として定着していきます。町内行事の企画・運営についても従来の役員中心から多くの方の参画への呼びかけをし、行事を通して住民の繋がりを広げ、強化するために、工夫していきます。

二、情報提供

必要な方に必要なときに、情報を的確に提供する仕組みの改善に取り組みます。定期回覧・掲示板の改善・全戸配布・インターネットの活用など、桜ヶ丘町内会のホームページを構築して一年が経ちました。現在はホーム管理委員会を発足し、更なる活用について検討を進めていただき、町内会のIT化を進めます。

町づくり宣言を十七年度総会で 付帯決議

桜ヶ丘が目指す町

桜ヶ丘は緑あふれるすがすがしい町、心のふれあう町、安全・安心な町、住んでよかった楽しい町を築き、巣立った子どもが孫を伴って、帰郷したい町」を目指します。

宣言

わが桜ヶ丘町は互いに手を携え、すばらしい環境をつくり、明

種団体については、町内会で活躍している方々などとの意見交換をし、町内会としてどのように対応するかを検討していきます。特に小学生に関係する活動を中心にまず検討します。

五、その他の委員会活動

- 1、第2名神対策委員会 継続
- 2、追分・丸尾地区画整理事業対策委員会 (継続)
- 3、パントリー対策委員会 継続

4、くらしのみちゾーン検討委員会 新規

一昨年に安全連絡協議会の提案が採用され、指定地域となり、昨年度は草津市・立命館大学の協力を得、ワークショップで問題点 課題がうきぼりになりました。今年度はさらに他の情報収集し、分析し、具体的な計画作りに取り組みます。

5、桜ヶ丘会館建設準備委員会 新規

町内会活動の拠点である桜ヶ丘会館は三十年前に建設され、リフォームまたは建替の時期が迫っており、当面は雨漏り対策が必要です。建設準備金は約 二千万円になりました。現在の建設準備金の積立方法では、年間八十万円の積立・建替費用に到達するには何十年も必要です。多分現在の建物を持ちこたえることは不可能です。

三、既存の町内会組織間の連携強化と自主活動を支援・連携

十七年度役員・各委員会・子供会・熟年会・同好会・桜プロジェクト・こもれび池を愛する会・福祉委員会・陽だまりサークルなどとの連携を強化し、町内会活動をより活性化します。

四、玉川学区・草津市の対応

玉川学区の活動をしている各

ことをお願いいたします。

副会長 二班 西 勝也

桜ヶ丘に移り住んで五年になります。その名の通り、春の桜の花のすばらしさには感嘆の声をあげるばかりです。また道路にそって美しい花が四季にわたって咲きほころぶというところも今まで経験したことがありませんでした。このような町づくりが、桜ヶ丘に住んでおられる住民の方々の個々の努力だけかと思っていたのですが、昨年の三十周年記念行事に参加して以来、いくつかの町内会の行事に参加し、これまでも任じた他の町では経験したことがなかった、桜ヶ丘町内会と住民の皆様とのつながり、取組みによりとることが大きいということがわかってきました。この度、平成十七年度桜ヶ丘町内会副会長を担当させて頂くことになりましたが、今まで町内会などの仕事を一度もしたことがなかった者にとって、はたしてどれだけの責任を担うのかとかなりの重圧を感じていますが、今後この桜ヶ丘に住み続けていくという気持ちがある以上、町内の皆様と共に桜ヶ丘全体のことを考え、行動し、より良い町にしていかなければと自らを叱咤激励していると

ころです。桜ヶ丘町づくり宣言も採択され、桜ヶ丘が目指す安全・安心な町、住んでよかった美しい町を実現するように、住民の皆様と共に努力するつもりです。皆様のご温かい御支援、御協力をお願いいたします。

副会長 十九班 伊豆田 恵子

前回私が班長をさせて頂いたのは二十年前でした。その時は桜ヶ丘もまだ発展途中の町で住所も野路町だったと思います。今回は町は成熟し、そろそろ高齢化して来たときになりました。しかし住み良い町、美しい町を目指し、毎年の班長が、桜プロジェクトの人が頑張って作り上げてこられ

た「桜ヶ丘町」の良さを守り、よりよくしていく為力ながらお手伝いしたいと思えます。三十年の歴史がある桜ヶ丘はこれからの良い町になるか、若者が去って行ってしまいう町になるかの分かれ目だという気がします。班長の仕事も「大変さ」だけが出て来るのではやり方が違う気がします。合理的にキメ細かくいかにしたら楽しく役をこなせるかを一年間通して追求していきたいと思えます。また二十年たったら回って来る班長の役：どんな町になっていくのか、私はその時もまた班長を引き受けられるのか楽しみにしています。

副会長 二十一班 大賀 利巳

平成元年からこの桜ヶ丘にお世話になりながら、町内の事が何一つわからない事はばかりなのに、今回の平成十七年度の町内会新役員選出会議で指名され、ある町内の先輩の意見で、断ることが出来ないと言われて、身のほどわかまえずとんでもない大役を引き受けてしまったと、後悔しているが今となっては仕方がない。副会長という大仕事をやってみて、私自身も、私が出ることが出来るでしょうか。会長さん始め各委員さん、班長さん達に助けってもらい、今以上の明るい環境の良い桜ヶ丘をめざして頑張ってくださいと思います。町内の皆様も応援よろしくお願ひ申し上げます。私が引越してきた当時は、玉川中学校、立命館大学、南草津駅もなく、私の前の通りも市道桜ヶ丘西線という立派な歩道自転車道が出来ました。まだまだこれ以上の玉川学区、桜ヶ丘町の発展をめざして頑張りますよ。

総務 十六班 廣岡 満子

この度、町内会総務を担当させて頂くことになりました。不慣れな為、不安もございしますが、会長

はじめ皆様の御指導のもと、頑張ってゆこうと思っております。桜ヶ丘（移り住み十年が経ちましたが、日々雑事に追われ、清掃以外の町内会の種々行事や活動に参加することも無く過ごしてまいりました。これからの一年は、班長、総務の仕事をさせて頂くことで町内会のことを学んでゆきたいと思っております。微力ではございますが、少しでもお役に立てますよう努力致す所存でございます。この一年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

総務 十八班 横山 拓也

桜ヶ丘に住居を構え、この度初めて自治会のお仕事を担わせて頂く事になりました。桜ヶ丘に住み、何年経っても、他の住宅地には見られない景観の美しさと清々しさに時折、感動させて頂くことがあります。さらに子供を安心して遊ばせることのできる公園があり、また、夏祭り等のイベントも和やかでとても楽しく参加させて頂いておりました。それら全ての事も思えば、自治会の縁の下力、住民一人一人の節度と協力によるものなのでしょう。

桜ヶ丘に暮らす幸福を味わいつつ、この度は縁の下力のひとつになれるよう諸役員の御指導を頂きながら、一年間微力ではあります。精一杯努めさせて頂きたいと思っております。皆様方の温かい御協力の程よろしくお願い申し上げます。

会計 二十四班 竹原 恵美子

この度、町内の会計を担当させて頂くことになりました竹原です。今まで人様のお金を預かるという仕事に携わった経験がありませんでした。その上桁違いの金額に正直言いまして大変不安な気持ちで一杯です。でも町内の大切なお金を収支いたしますの

で気を引きしめて間違いないようにこの一年間頑張っていきたいと思っております。当町内も次第に高齢化傾向になって来ていますが、落着いて、品のあるそれが溢れていて誰かが桜ヶ丘に住みたいと思われ町になります様に微力ながら尽くしたいと思っております。皆様方のご協力とご支援の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

会計 二十八班 小西 真知子

桜ヶ丘に住居して二十年目に初めて二十八班班長となり、また会計という責任ある役を担当することになりました。班長の仕事、また会計の仕事も昨年の資料を見る度、不安になりますが、同時に今迄の班長、役員の方々のご苦労に対し感謝の気持ちで一杯です。今迄経験したことのない緊張した一年を送ることになりますが、前年度の会計の方々に教えて頂き二十四班の竹原さんと協力し、会員の皆様の大変な会費の管理をしっかりとしていきたいと思っております。どうか町内会員の皆様のご理解と御協力をよろしくお願い致します。

広報委員長 二十二班 中村 佳代子

桜ヶ丘に住居して二年、初めて班長、広報委員をさせて頂くことになりました。子供も成人し仕事中心の生活のため町内会の行事に参加することも少なくなっていました。引継ぎ、総会を通じて町内会活動、役員の方のご努力を再認識いたしました。また、桜プロジェクト、委員会、同好会など大勢の方が活動されていること、桜ヶ丘にホームベージュがあることも初めて知りました。この一年、委員の皆さんと協力し町内のさまざまな活動を桜めーる等を通じて、皆様にお知らせ出来るようにがんばりたいと

思っています。概要は引き継ぎましたが、実際に行うとなると、とまどう事ばかりだと思っております。皆様のご助言、ご協力をよろしくお願い致します。

保健衛生委員長 二十九班 濱野 信夫

陽春の候、皆様には益々ご清栄の事とお喜び申し上げます。この度、保健衛生委員を担当させて頂く事になりました濱野と申します。桜ヶ丘に住み始めた頃は閑散とした町並みで物淋しく感じられておりましたが、子供達の成長とともに緑溢れる美しい町並みとなりました。至らない点も多々あるとは存じますが、グループの柱となり精進して参りますので御指導御鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

環境委員長 五班 松本 幸夫

安全、安心住みよい町づくりを目指して微力ではありますが、環境委員一丸となつて、ボランティア精神を発揮して一年間頑張つて参りたいと思っております。何はさておき一番大切なのは皆様のご協力、ご支援であります。こもれび池の管理では、多くのボランティアの方々のご協力も得ております。桜ヶ丘に住み三十年が過ぎました。家のまわりにはほとんど家がなく、野うさぎやきなど毎日のように目にしましたものです。当時と比較すると何かとすい分変化してきております。みんなが住んでよかったです、又自慢のできる桜ヶ丘でありたいと思っております。環境委員一同、小さなことからコツコツとをモットーに汗をかいて参りますので、皆様方のご協力ご支援よろしくお願い致します。

文化厚生体育委員長 二十五班 中山 勲

この度、文化厚生体育委員を担当させて頂く事になりました

た二十五班の中山です。当委員会のメンバーは、梅田豊子（十四班）、高津豊（七班）、遠藤千春（九班）、木村雅美（二十三班）の各班長五名で担当させて頂きます。

文厚体の活動は、歩こう会・夏祭り・運動会・球技大会・とうと焼き等盛沢山の楽しい行事を用意して居ります。イベントを通じて、桜ヶ丘の皆様方の健康増進と楽しい交流での、思い出作りになる様、委員一同頑張りますので、皆様ふるってご参加下さいませよう、お待ちしております。

防火防交通安全委員長 二十七班 釜我 慶子

今年度、防火委員をさせて頂いたばかりになりました。私は桜ヶ丘に住むようになり、二十四年になりますが、当時はあまり住宅が建っていませんでしたが、いまでは七百世帯強の住宅が建ち、大きな町内となりました。長年住んで居ますがあまり家に居なかつたためか、町内の事をあまり把握していません。今回大役の防火委員長を担当させて頂く事となり大変な事と思いつながら、住み良い町内のために経験が全く無いので、とても不安でいっぱいですが、一年間大役をまっとう出来るよう、勉強しつつ五人のメンバーで力を合わせ活動に頑張つてまいります。活動に当たり会員の皆様方のご協力とご支援ご指導を宜しくお願い致します。

桜まつり開催

四月九日、桜プロジェクトのメンバーを中心に「桜まつり」が開催され、消火訓練や地震体験車、ウォークラリー等で趣味的作品を見せて頂いたり、ピアノコンサートを聴いたりして、楽しいひと

ときを過ごしました

- | | |
|-----|----|
| 横山 | 中村 |
| 濱野 | 松本 |
| 釜我 | 小西 |
| 竹原 | 廣岡 |
| 伊豆田 | 中山 |
| 大賀 | 西 |



消火訓練の様子



全国賞自治活動優秀町内会



ウォークラリーの様子